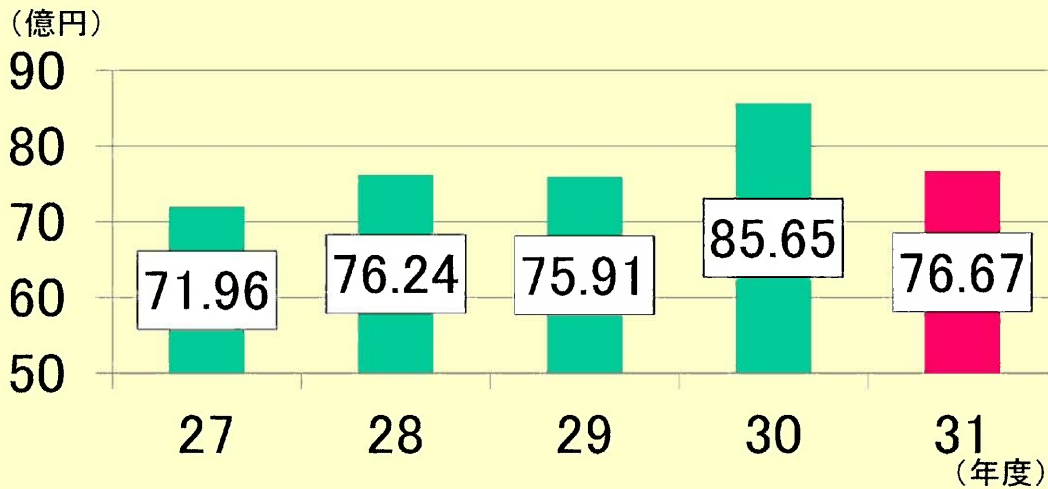


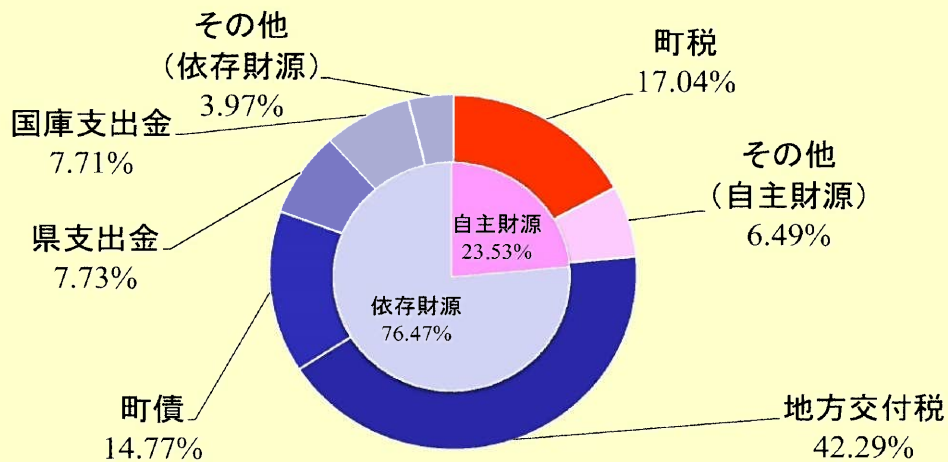
(1)平成31年度事業の説明について

担 当 部 署	ページ
総務課	1 ～ 7
企画課	8 ～ 11
商工観光課	12 ～ 14
健康対策課	15 ～ 19
福祉課	20 ～ 22
地域整備課	23 ～ 25
産業課	26 ～ 30
教育委員会事務局	31 ～ 34
分庁総合窓口課	35

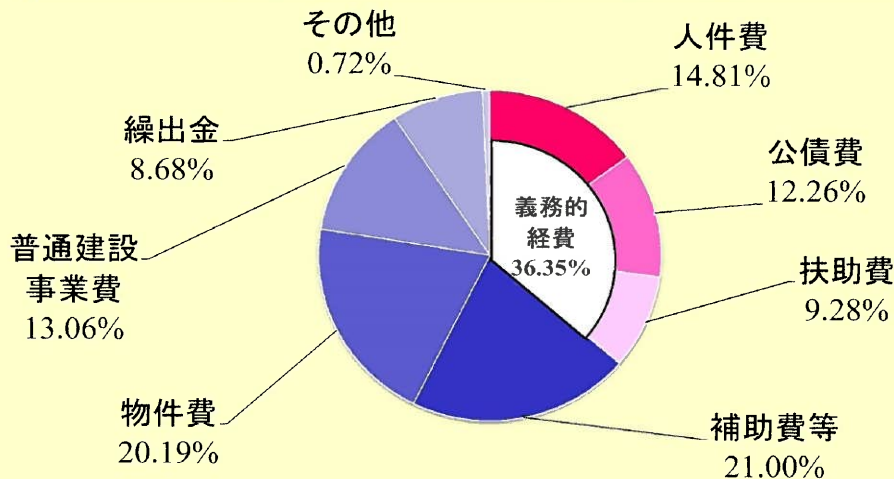
一般会計当初予算額の推移



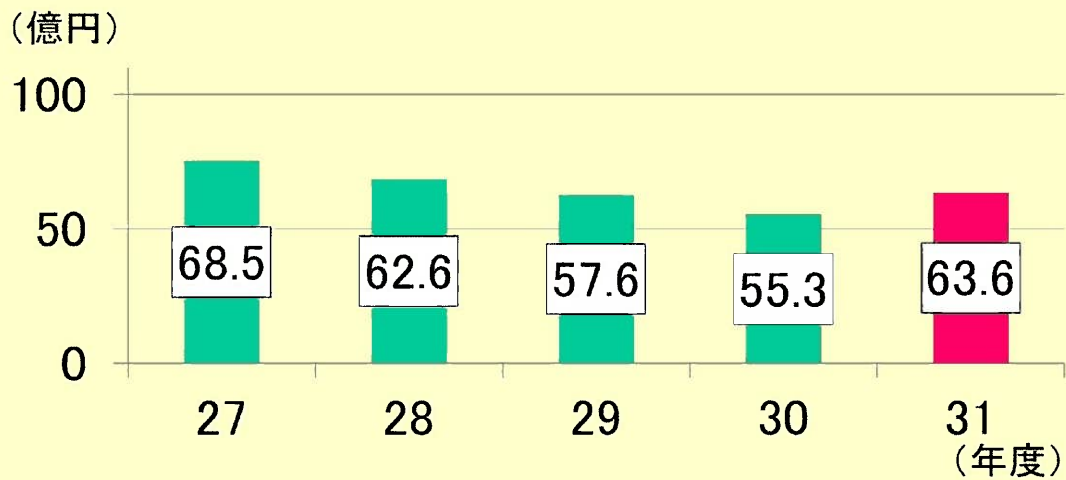
歳入 76億6千7百万円



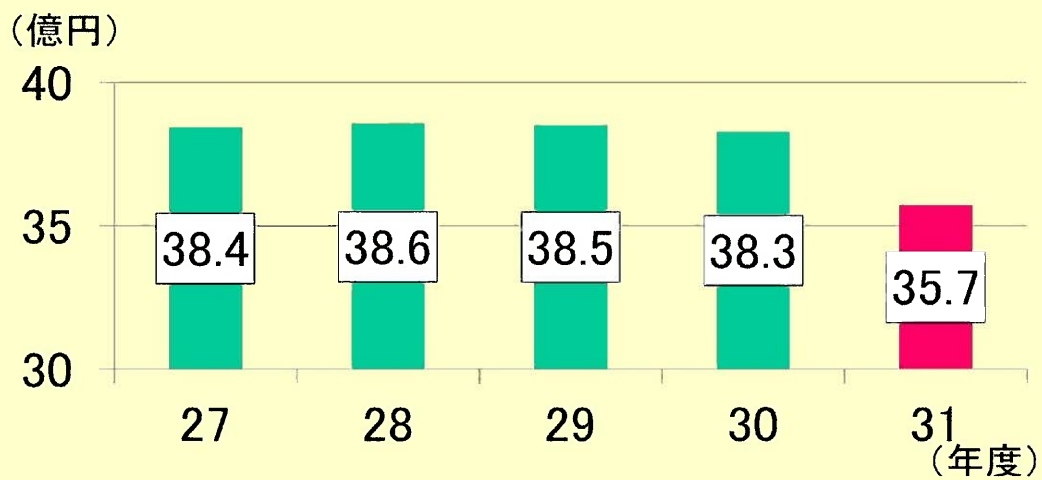
歳出 (性質別)



地方債(借入金)残高の推移



基金(貯金)残高の推移



平成31年度 一般会計予算

提出課 総務課
 (目)11. 交通安全対策費
 (単位:千円)

(款)2. 総務費 (項)1. 総務管理費

事業名	LED街灯整備事業				
前年度予算額	本年度予算額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
1,711	959	161			798
【事業概要及び必要性又は目的】 集落の街灯整備について、LED街灯の新設・更新・修繕に対し補助することで、地域の防犯体制の強化、地球温暖化対策に資する。					
【事業の内容】					
【補助率】					
<ul style="list-style-type: none"> ・LED街灯新設 対象経費の3/4以内(限度額34,500円) ※県の補助金額見直しに伴い10/10から3/4へ変更 ・LED街灯更新 対象経費の1/2以内(限度額15,000円) ・LED街灯修繕 対象経費の1/2以内(限度額13,000円) ※平成31年度より補助対象(単町事業) 					
【申請数】					
	事業費	事業内容	補助金額		
・新設分申請額	316,008円	4集落 7台	219,000 円		
・更新分申請額	1,241,474円	10集落 38台	567,000 円		
・修繕分申請額	申請なし	申請なし	0 円		
・緊急修繕分			173,000 円		
合計			959,000 円		
【本年度の計画効果】 各集落へ補助を行うことにより、危険箇所(暗所)への街灯整備が促進され、交通環境の向上、防犯対策及び省電力化が図られる。					
【予算措置(財源内訳)】 星空に優しい安全なまちづくりLED防犯灯設置等促進事業補助金(県) 161千円					

平成31年度 一般会計予算

提出課

総務課

(款)2. 総務費

(項)1. 総務管理費

(目)13. 空家等対策推進費
(単位:千円)

事業名	空家等対策推進事業				
前年度予算額	本年度予算額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
2,479	3,679				3,679
<p>【事業概要及び必要性又は目的】</p> <p>人口減少や既存の住宅・建築物の老朽化等に伴い、居住その他の使用がなされていない住宅等が年々増加傾向にある。このような空家等の中には適切な管理が行われず、安全性の低下、公衆衛生の悪化、景観の阻害など多岐にわたる問題を生じさせ、地域住民の生活環境に深刻な影響を及ぼしているものが発生している。そのため、法に基づく措置の運用、対策の実施を総合的に推進し、公共の福祉の増進と地域の振興に寄与することを目的とする。</p> <p>【事業の内容】</p> <p>空家等対策の推進に関する特別措置法に基づき、協議会を設置し計画の推進及び対策検討を行い、増加傾向にある空家等への対策を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○協議会委員報償費 36,000 円 ○事務費 43,000 円 ○空き家除去補助金 3,600,000 円 (伯耆町空家等対策推進補助金) <p>計 3,679,000 円</p> <p>【本年度の計画効果】</p> <p>危険空家等の適正管理及び除却の支援を行い住環境の健全化を図る。</p> <p>平成31年度中協議会を3回開催予定 (検討事項等) 伯耆町空家等対策推進補助金の交付について 特定空家等指定に係る協議について など</p> <p>伯耆町空家等対策推進補助金交付見込み</p> <ul style="list-style-type: none"> 集落活用タイプ(10/10、上限1,200千円) 3件(未定) 個人除却タイプ(1/2、上限600千円) 0件 					

平成31年度 一般会計予算

提出課

総務課

(款) 7. 土木費

(項) 5. 土木管理費

(目) 1. 建築指導費
(単位:千円)

事業名	伯耆町震災に強いまちづくり促進事業				
前年度予算額	本年度予算額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
3,891	5,091	3,456		1	1,634

【事業概要及び必要性又は目的】

町内の住宅及び集落公民館の耐震化の促進を図るため、補助等を行うもの。

【事業の内容】

【拡充内容:ブロック塀震対策】

一般住宅

区分	補助率	補助額上限	件数	予算計上額
住宅耐震診断	本人負担なし(町で実施)		5件	675千円
住宅補強設計	2/3	160千円	5件	800千円
耐震改修	2/3又は1/3	1,000千円	1件	1,000千円
補助金額は、改修費用の2/3(S56年以前建築)又は1/3(S56～H12建築)と100万円のいずれか低い方				
耐震シェルター	23%	822千円	1件	822千円
屋根瓦耐震対策	1/3	300千円	1件	300千円
ブロック塀震災対策(除去)	2/3	150千円	4件	600千円
ブロック塀震災対策(改修)	1/3	100千円	2件	200千円
計				4,397千円

集落公民館

区分	補助率	補助額上限	件数	予算計上額
住宅耐震診断	本人負担なし(町で実施)		1件	502千円
住宅補強設計	4/5	192千円	1件	192千円
計			2件	694千円

【本年度の計画効果】

町内の住宅及び集落公民館の耐震化を促進する。

【予算措置(財源内訳)】

区分	国		県		補助金計
	補助率	補助金額	補助率	補助金額	
住宅耐震診断	1/2	412千円	1/4	135千円	547千円
住宅補強設計	1/3	480千円	1/6	240千円	720千円
耐震改修	1/2	500千円	1/4	250千円	750千円
耐震シェルター	1/9	411千円	5.75%	205千円	616千円
屋根瓦耐震対策	1/6	150千円	1/12	75千円	225千円
ブロック塀震災対策	1/2	400千円	1/4	198千円	598千円
計	-	2,353千円	-	1,103千円	3,456千円

その他の収入

被災者住宅再建支援事業助成基金利子 1千円

平成31年度 一般会計予算

提出課

総務課

(款)8. 消防費

(項)1. 消防費

(目)2. 非常備消防費
(単位:千円)

事業名	消防・防災対策事業				
前年度予算額	本年度予算額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
12,982	8,641		1,000		7,641

【事業概要及び必要性又は目的】

平時から災害に備えた対策事業を行うことで、被害防止、軽減を図り住民の身体、生命、財産の保全に寄与する。

【事業の内容】

○消防施設整備補助金

各集落の消防施設整備事業に対し補助を行い、消防施設の整備拡充を図る。(詳細裏面)

集落補助金(20集落、22事業) 2,474千円

○家具転倒防止等器具補助金

地震発生時において、居住用建物内の家具の転倒等による被害を軽減するため、家具転倒防止器具等の購入又は取付けを行う者に対し、補助金を交付する。

区分	補助対象額上限	補助率	件数	予算計上額
家具転倒防止等器具補助金	20千円	1/2	5件	50千円
器具等購入費・取付け補助金	20千円	10/10	5件	100千円
取り付け補助は、高齢者世帯・生活保護世帯等に限定				
計			10件	150千円

○その他

防災会議委員報酬	43千円
災害対策本部関係(時間外手当等)	841千円
災害対策本部関係(備蓄品関係)	761千円
自主防災組織関係(自主防災組織訓練消耗品等)	348千円
防災活動車、防災広報車関係	478千円
衛星電話等通信運搬費	284千円
災害時メール配信委託料	540千円
災害時等小型無人航空機運用業務委託料	263千円
消防施設等修繕工事費(消火栓修繕等)	2,116千円
消防・防災対策用備品購入費	343千円

【本年度の計画効果】

防災体制等を整備することにより、災害への早期対応、減災を行う。

【予算措置(財源内訳)】

○緊急防災・減災事業債(消防施設等修繕工事) 1,000千円

平成31年度消防施設整備事業補助申請一覧表

(単位:円)

番号	集落名	補助対象事業費	補助率	補助金交付額 ①×②(申請額) 千円未満切捨て	項目	物品名
1	サン団地	417,000	80%	357,000	消火栓	消火栓移設
2	番原	86,400	45%	38,000	器具	ホース 2本 管鎗 1本 噴霧ノズル1個
3	真野	60,912	45%	27,000	器具	双口継手 1個 ホース格納箱 1個
4	須村	57,240	45%	25,000	器具	水利確保用堰止め器具
5	丸山	93,960	45%	42,000	器具	ホース格納庫 1個 ホース 3本
6	立岩	44,280	45%	19,000	器具	ホース 1本 管鎗 1本
7	吉定	101,520	45%	45,000	器具	ホース 4本
8	遠藤	138,240	80%	110,000	消火栓	消火栓移設
9	遠藤	173,880	45%	78,000	器具	ホース格納庫 1個 ホース 4本 管鎗 1本
10	小町	486,000	70%	340,000	防火水槽	防火水槽マンホール周 辺のコンクリートを修 繕する
11	こしが丘	136,080	45%	61,000	器具	ホース 4本 管鎗用保護タイヤ 1個 肩掛けベルト 2本
12	殿河内	68,580	45%	30,000	器具	離脱把手付スタンドパイ プ (地下式消火栓用スタン ド)
13	坂長	34,560	45%	15,000	器具	ホース格納庫 2個
14	岩屋谷	155,520	45%	69,000	器具	ホース 6本
15	岩屋谷	894,240	70%	625,000	防火水槽	防火水槽フェンス設置 2箇所
16	福吉	82,080	45%	36,000	器具	ホース格納庫 1個 ホース 2本 管鎗 1本
17	溝口一	52,920	45%	23,000	器具	ホース 2本
18	溝口四	58,860	45%	26,000	器具	ホース 2本 噴霧ノズル 1個
19	古市	60,480	45%	27,000	器具	ホース格納庫 1個
20	金屋谷	388,800	45%	174,000	器具	ホース 18本
21	岩立	95,040	45%	42,000	器具	管鎗 4本 噴霧ノズル 4個
22	富江	144,720	45%	65,000	器具	ホース格納庫 5本 ホース 5本
	緊急修繕分	200,000		200,000		
	合計	4,061,312		2,474,000		

平成31年度 一般会計予算

(款) 2. 総務費 (項) 1. 総務管理費 (目) 1. 一般管理費 (単位:千円)

提出課 企画課

事業名		区長協議会			
前年度予算額	本年度予算額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
14,097	13,679			8,329	5,350
【事業概要及び必要性又は目的】 住民参画による地域づくりを確立するため、自治会の代表者で構成する区長協議会を支援し、町行政との連携及び自治組織の振興を図る。					
【事業の内容(事業費内訳)】					
<ul style="list-style-type: none"> ・地域自治活動交付金…集落の自治活動支援のため交付するもの。 13,398千円 1世帯当たりの交付単価4,000円(世帯数は平成30年度実績数参考) ○住民登録世帯分:4,000円×3,229世帯=12,916,000円 ○住民非登録世帯分:4,000円×25世帯×1/2=50,000円 ○区長協議会出席分(4月・11月)2,400円×90集落×2回=432,000円 ・区長協議会交付金…環境美化活動、避難訓練、先進地視察研修などの事業費を支援 270千円 区長協議会が実施する環境美化活動、避難訓練、先進地視察研修などの事業費を支援 ・普通旅費(区長協議会先進地視察研修随行@2,600円×4人分) 11千円 					
合計 13,679千円					
【本年度の計画効果】 区長協議会定例会の開催をはじめ、町内にて環境美化活動、防災訓練活動を行うほか、講演会の開催や各区長による自治活動先進地視察を行い、伯耆町の自治活動の促進を図る。					
【予算措置(財源内訳)】 ・地域振興基金利子 8,329千円					

(款) 2. 総務費 (項) 1. 総務管理費 (目) 2. 文書広報費 (単位:千円)

事業名		有線放送施設維持事業(補助金事業)			
前年度予算額	本年度予算額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
1,083	982				982
【事業概要及び必要性又は目的】 集落有線放送施設の修繕等について補助を行い、地域活動を支援する。					
【事業の内容(事業費内訳)】					
<ul style="list-style-type: none"> ・使用料及び賃借料(共架料・土地使用料) 682千円 ・有線放送施設整備補助金(緊急対応分) 300千円 					
合計 982千円					
【本年度の計画効果】 集落有線維持のため共架料等の負担のほか、災害対応、支障移転、老朽化した放送機器更新等に支援を行う。					

平成31年度 一般会計予算

提出課 企画課

(款) 2. 総務費

(項) 1. 総務管理費

(目) 6. 諸費

(単位:千円)

事業名		公共施設整備事業			
前年度予算額	本年度予算額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
1,075	2,675				2,675
【事業概要及び必要性又は目的】 集落公民館、公園、周辺設備等の集落が管理する施設の整備費を補助することにより、集落負担の軽減を図るとともに、地域住民の連携意識高揚及び住民参加によるまちづくりを推進する。					
【事業の内容(事業費内訳)】					
		申請数	補助金額		予算措置額
・公共用地取得事業		1件	200千円(緊急対応等無)		200千円
・集落公民館等整備事業		3件	315千円+緊急対応分	100千円＝	415千円
・その他付随施設整備事業		1件	134千円+緊急対応分	100千円＝	234千円
・公園整備事業		2件	1,162千円+緊急対応分	100千円＝	1,262千円
・集落墓地外構整備		1件	464千円+緊急対応分	100千円＝	564千円
合計		8件	2,275千円+緊急対応分	400千円＝	2,675千円
【本年度の計画効果】 集落公民館、公園、周辺設備等の集落が管理する施設整備に支援を行い、集落活動の促進を図る。					

平成31年度 公共施設整備補助金申請一覧表

事業名	集落名等	事業概要	補助率(%)	補助対象事業費(円)	補助申請額(円)
公共用地取得	栃原	公民館隣地の民地を多目的広場用に購入(1,395㎡)	20	1,000,000	200,000
	計			1,000,000	200,000
公民館等の整備拡充等	丸山	公民館厨房エアコンの設置(8.0kwタイプ)	45	340,000	153,000
	溝口一区	公民館エアコンの更新(4.0kwタイプ)	45	129,600	58,000
	岩立	公民館和室照明設備のLED化	45	231,120	104,000
	計			700,720	315,000
その他付随施設整備	真野	公民館トイレの洋式化(1基)	50	268,704	134,000
	計			268,704	134,000
公園整備	カイトウ大殿	集落公園の枕木更新	45	100,000	45,000
	栃原	多目的防災広場造成(防災用駐車場等用地整備)	45	2,484,000	1,117,000
	計			2,584,000	1,162,000
集落墓地外構整備	大内	集落内墓地通路整備	45	1,032,480	464,000
	計			1,032,480	464,000

(款) 2. 総務費

(項) 1. 総務管理費

(目) 7. 企画費

事業名		集落活動支援事業			
前年度予算額	本年度予算額	国・県支出金	起債	その他	一般財源
		848	860		
【事業概要及び必要性又は目的】 住民参画による協働のまちづくりを実現するために下記の事業を実施する。					
【事業の内容(事業費内訳)】					
・地域活動補助事業(補助率45%)			225千円		
(内訳:申請予定分2件補助額90千円、年度中途申請見込3件補助額135千円)					
・地域再編コーディネート事業・集落活性化モデル事業			240千円(枠計上)		
・協働のまちづくり事業支援交付金(二部・日光)			380千円(190千円×2団体)		
・需用費(消耗品等)			15千円		
			860千円		
【本年度の計画効果】 地域資源の活用等による自主的な活性化への取り組みや、集落の再編に向けた取り組みへ支援					

平成31年度 一般会計予算

提出課 企画課

(款) 2. 総務費

(項) 1. 総務管理費

(目) 7. 企画費

(単位:千円)

事業名	企業誘致事業(企業誘致推進事業)			
前年度予算額	本年度予算額	財源内訳		
		国・県支出金	起債	その他
6,976	15,776	380	12,800	2,596

【事業概要及び必要性又は目的】

○町の重要施策である企業誘致を推進し、税収確保や雇用の場創出を図り、地域の活性化に資する。

【事業の内容】

(予算の状況)

(単位:千円)

科目等	内容	金額	備考
旅費	普通旅費(企業誘致)	268	東京・大阪方面
需用費	消耗品・食糧・印刷製本費	197	手土産代・パンレット印刷
委託料	用排水関係調査委託料	1,599	新規誘致企業に係る水路新設工事設計委託料
	調査委託料	368	企業情報収集
工事請負費	工事請負費	11,970	新規誘致企業に係る水路新設工事
負担金補助及び交付金	西部地域振興協議会負担金	98	関西での企業誘致、移住定住相談会開催負担金
	企業立地補助金等	1,276	企業等立地奨励金等 376 西部地域振興協議会企業立地促進補助金 900
合計		15,776	

【本年度の計画効果】

- 大山ハム株の進出に伴う、雨水排水施設の新設工事を行い、新規企業誘致を支援する(L=70m)
- 鳥取県及び西部地域振興協議会と連携して、積極的な誘致活動を行うことにより県内外企業に町内企業分譲地への誘致を促進する。(10月 関西機械要素技術展出展)
- 事業所の新增設など一定要件を満たす企業に対して、企業等立地補助金を交付し、事業展開を支援する (久米桜麦酒株交付予定)
- 西部地域振興協議会企業立地促進補助金を交付して雇用拡大を支援する。(3人予定)

【予算措置(財源内訳)】

工業団地再整備補助金(県) 380千円
合併特例事業債 12,800千円

大山ハム株式会社新工場誘致の概要 (変更の可能性あり)

- 所在 伯耆町須村1123番地 (旧すこやか村)
- 敷地面積 19,298.39㎡
- スケジュール
2019年 7月 進出協定締結 8月 造成工事着手
2020年 1月 工場建設工事着手 11月 工場建設工事完了
2021年 春 操業開始
- 工場延床面積 5,206㎡
- 投資予定額 35億円
- 雇用者予定数 2021年80人⇒2022年100人



完成イメージ図

平成31年度 一般会計予算

提出課 企画課

(款) 2. 総務費 (項) 1. 総務管理費 (目) 7. 企画費 (単位:千円)

事業名	ワーキングコミュニティスペース(WCS)事業				
前年度予算額	本年度予算額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
25,850	93,029		77,000		16,029

【事業概要及び必要性又は目的】

溝口分庁舎の空きフロアを活用してワーキングコミュニティスペース(WCS)を開設し、軽作業を行う就労、運動やレクリエーションによる参加者の健康増進、コミュニティの場をつくり、地域住民の生きがい対策や健康寿命の延伸を目指すとともに、過疎地域の活性化を図る。

【事業の内容】

(予算の状況)

(単位:千円)

科目等	内容	金額	備考
共済費	労災・社保・雇用	829	集落支援員1名・協力隊2名
賃金	WCS臨時雇賃金	5,297	
需用費	消耗品費	189	
役務費	自動車保険料	59	集落支援員業務用車両
委託料	改修工事監理委託料	2,205	WCS改修工事
	WCS運営支援委託料	3,780	開業支援・プロモーション・人材育成
使用料及び賃借料	施設借上料	1,191	協力隊住居借上料(2名分)
	自動車借上料	288	集落支援員業務用車両
工事請負費	WCS施設改修工事費	63,934	フィットネスクラブ改修・カラオケルーム コミュニティスペース(カフェ) 空調追加
備品購入費	WCS備品購入費	15,257	WCS備品(机・イス・ロッカー等)・製氷機 音響機器・トレーニングマシン・体組成計 フィットネス備品・カラオケ機器・看板
合計		93,029	

【本年度の計画効果】

- WCS会場として伯耆町役場溝口分庁舎の5階部分の改修、空調機器の追加、備品整備及び開業支援業務の委託を行う。
- 集落支援員・地域おこし協力隊を採用して運営支援を行い、初期段階の経営安定化を図る。
- 運営主体:伯耆町社会福祉協議会 6月会員募集開始 9月オープン

【予算措置(財源内訳)】

過疎対策事業債 77,000千円
 一般財源 16,029千円 ※特別交付税措置有 7,620千円
 (集落支援員:設置・活動に関する経費 2,740千円)
 (地域おこし協力隊:報償費等 3,192千円、その他経費 1,688千円)

ワーキングコミュニティスペースみぞくちテラス



平成31年度一般会計予算

(款)6. 商工費

(項)1. 商工費

(目)2. 商工振興費

(単位:千円)

事業名	本気で頑張る産業支援事業				
前年度予算額	本年度予算額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
2,500	2,500				2,500
【事業概要及び必要性又は目的】					
積極的に地域特産品振興を図るため、町内グループ、企業等が本格的な事業化・商品化を行う場合、その事業段階に応じた集中支援を行う。					
【事業の内容】					
実施状況 ※平成30年度は見込					
	特産品等開発支援	市場開拓	競争力強化	国・県等制度利用	計
平成20年度	1件 1,000,000円	1件 250,000円	2件 221,928円	1件 70,557円	5件 1,542,485円
平成21年度	2件 2,000,000円		2件 260,000円	5件 1,182,000円	9件 3,442,000円
平成22年度	1件 1,000,000円	1件 153,000円	1件 202,000円	1件 500,000円	4件 1,855,000円
平成23年度		1件 250,000円	1件 224,000円	5件 1,385,000円	7件 1,859,000円
平成24年度		2件 500,000円	1件 250,000円	3件 1,105,000円	6件 1,855,000円
平成25年度		1件 250,000円		3件 856,000円	4件 1,106,000円
平成26年度		1件 250,000円	1件 250,000円	3件 1,073,000円	5件 1,573,000円
平成27年度			1件 250,000円	4件 1,755,000円	5件 2,005,000円
平成28年度	1件 1,000,000円	4件 778,000円	2件 420,000円	1件 150,000円	8件 2,348,000円
平成29年度	1件 812,000円	1件 98,000円	3件 458,000円	3件 462,000円	8件 1,830,000円
平成30年度				5件 1,350,000円	5件 1,350,000円

(単位:千円)

事業名	伯耆町プレミアム商品券事業				
前年度予算額	本年度予算額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
	5,620	5,610			10
【事業概要及び必要性又は目的】					
消費税率引き上げが低所得者・子育て世帯の消費に与える影響を緩和するとともに、町内における消費を喚起・下支えするため、低所得者・子育て世帯向けのプレミアム付商品券の発行等を行う。					
【事業の内容】					
○購入対象者					
(1)2019年度住民税非課税者(課税基準日2019.1.1)					
※住民税課税者と生計同一の配偶者・扶養親族、生活保護被保護者等を除く。					
(2)3歳未満の子が属する世帯の世帯主					
○制度概要					
・購入限度額					
①上記(1)の該当者:券面額2.5万円(販売額2万円)					
②上記(2)の該当者:券面額2.5万円(販売額2万円)×3歳未満の子の数					
・割引率 20%					
・使用可能期間 2019.10~2020.3(予定)					
【予算措置(財源内訳)】					
10/10国庫補助金					

平成31年度一般会計予算

(款)6. 商工費

(項)1. 商工費

(目)3. 観光費

(単位:千円)

事業名		観光振興一般			
前年度予算額	本年度予算額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
14,796	9,116	2,041		1,200	5,875
【事業概要及び必要性又は目的】					
本町の観光振興を図るために各種団体に負担金等を交付し広域で連携した観光振興を図る。					
【事業の内容】					
区分	予算額(千円)	説明			
鳥取県観光連盟負担金	462	県・市町村・観光関係団体で観光連盟を組織し、観光推進を図る。 ○県外旅行エージェント招致及びツアー商品開発売込 ○全国主要都市での観光PRイベントにて、県産品紹介			
山陰観光連盟負担金	90	鳥取・島根両県で観光連盟を組織し、山陰の観光推進を図る。 ○山陰誘致ポスターの作成 ○山陰観光ガイドブックを作成し、JR西日本各主要駅及び旅行代理店に設置			
大山山麓観光推進協議会負担金	359	広域的な観光推進を図るため大山山麓エリア9市町村により協議会を設置し、エリア内の観光客誘致を行う。 ○大山王国ホームページ掲載維持管理 ○広域観光マップ「大山遊悠絵図」を作成し、全国へ配付			
大山エリア観光二次交通整備推進協議会負担金	600	点在する観光地を有機的に接続して周遊型大山観光を実現するため関係市町村、関係団体とで連携して、周遊バスを運行する。 ○4月から11月まで運行し、延べ10,000人の利用を見込む。			
コンベンション開催助成交付金	300	ロイヤルホテル大山など伯耆町で開催される一定規模以上のコンベンション大会に対し、県及び本町にて、対象事業に助成金を交付し、大会運営を支援する。			
その他の負担金	308	国際定期便利用促進協議会負担金	36,000円		
		米子空港利用促進懇話会負担金	60,000円		
		NPO地域活性化センター負担金(恋人の聖地参画費)	162,000円		
		県内スキー場共同企画事業負担金	50,000円		
大山冬季交通対策協議会関係	115	交通誘導看板設置委託料	25,000円		
		冬期交通対策協力金	90,000円		
各種イベント補助負担金	2,700	伯耆町リゾート交流会負担金	300,000円		
		フェスティバル・ディア・マズミズ実行委員会補助金	1,200,000円		
		大山榭水高原スキー場開き祭補助金	100,000円		
		きしもと豊年盆踊り花火大会補助金	1,100,000円		

平成31年度一般会計予算

(款)6. 商工費

(項)1. 商工費

(目)3. 観光費

(単位:千円)

区分	予算額(千円)	説明
鳥取県西部地域 広域観光事業負 担金	4,182	伯耆国「大山開山1300年祭」推進事業負担金 3,074,000円 全国に向けた大山(圏域)の魅力のPR、さらなる誘客促進のため、大山圏域の市町村、民間団体等が一体となって、伯耆国「大山開山1300年祭」の取組・イベントを展開。県と市町村等で組織する同祭実行委員会が実施する各プロジェクトを推進し、広域的な観光振興を図る。 参考:鳥取県・西部市町村連携事業全体事業費:152,603千円 うち伯耆町関係事業:大山紅葉満喫ウォーク(鳥取県、大山町、江府町、伯耆町)日本遺産PR誘客事業(鳥取県、米子市、大山町、江府町、伯耆町)、大山ビールフェスタ大山(鳥取県、伯耆町)、フェスティバルダイヤモンドスミズ2019天空星空プログラム(鳥取県、伯耆町)ほか
		鳥取県西部圏域DMO推進事業負担金 1,108,000円 西部圏域の市町村と県が連携し、観光関連団体と各事業者等を取りまとめる事で、「圏域のブランド化」を推進する。行政、観光関連団体、事業者、住民が参画する地域プラットフォームの構築に向けた機運の醸成を図りDMOの組織化を目指す。 伯耆町関係事業:DMO推進事業・大山パワーブランド化(鳥取県、米子市、日吉津村、大山町、南部町、江府町、伯耆町)、大山山麓周遊促進事業(鳥取県、米子市、大山町、南部町、伯耆町)
計	9,116	

【本年度の計画効果】
広域連携等を図り、地域の資源や魅力を効果的に情報発信する。

【予算措置(財源内訳)】

地域創生推進交付金	2,041千円	※鳥取県西部地域広域観光事業負担金に充当
過疎対策事業債	1,200千円	※フェスティバルダイヤモンドスミズ実行委員会補助金に充当

平成31年度 一般会計予算

提出課 健康対策課
 (目) 3. 保健事業費
 (単位:千円)

(款) 4. 衛生費 (項) 1. 保健衛生費

事業名	健康教育事業				
前年度予算額	本年度予算額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
5,825	5,436	617		915	3,904
【事業概要及び必要性又は目的】					
生活習慣病の予防、健康増進、介護予防等を目的に健康に関する正しい知識や実践力の普及を図るための各種教室・講演会・講座を開催する。					
【事業の内容】					
高齢者健康運動教室(まめまめクラブ:年間344回開催)					
中学生生活習慣病予防教室					
さわやか歩キングの集い(6月開催予定)					
元気アップ教室(年間24回開催)					
スクエアステップ教室(年間10回開催)					
水中まめまめクラブ(年間80回開催)					
アクアフィットネス教室(年間40回開催)					
健康運動アドバイザー研修会					
【事業費】					
謝礼 105 千円					
需用費 57 千円					
健康教室委託料 5,274 千円					
計 5,436 千円					
【予算措置(財源内訳)】					
健康増進事業補助金(基準額の2/3) 617 千円					
教室等手数料 404 千円					
後期高齢者医療特別対策補助金 317 千円					
諸収入(鳥大看護学生実習指導料等) 194 千円					
一般財源 3,904 千円					

平成31年度 一般会計予算

提出課 健康対策課

(款) 4. 衛生費

(項) 1. 保健衛生費

(目) 3. 保健事業費

(単位:千円)

事業名	検診事業					
	前年度予算額	本年度予算額	財源内訳			一般財源
国・県支出金			起債	その他		
	32,331	31,178	1,380		2,450	27,348
【事業概要及び必要性又は目的】						
<p>がんの早期発見・早期治療のため、各種がん検診を行う。(対象は年齢条件を満たす町民) 検診の形態は、公益財団法人鳥取県保健事業団に委託して実施する集団検診と、各医療機関に委託して実施する医療機関個別検診の2種類。 うち、胃がん検診については、西部医師会との契約となり、町外医療機関(米子市、南部町、伯耆町、日吉津村内)の一部での実施が可能となった。 がん検診は健康増進法に基いての努力義務として、また、骨粗鬆症検診、肝炎ウイルス検診は健康増進法に基づき、がん検診とともに実施する。 また、後期高齢者医療保険の被保険者を対象とした人間ドックを実施する。</p>						
【事業の内容】						
○集団検診						
<ul style="list-style-type: none"> ・胃がん検診 ・ピロリ菌検査 ・結核肺がん検診 ・大腸がん検診 ・子宮がん検診 ・乳がん検診 ・骨量検診 ・肝炎ウイルス検診 ・前立腺がん検診 						
○医療機関委託検診【拡充】						
<ul style="list-style-type: none"> ・胃がん検診 ・ピロリ菌検査 ・子宮がん検診 ・乳がん検診 ・骨粗鬆症検診 ※胃がん検診は、西部圏域(米子市、南部町、伯耆町及び日吉津村)の一部医療機関に拡充 						
○後期高齢者人間ドック						
<ul style="list-style-type: none"> ・平成31年度中に偶数年齢になる後期高齢者医療被保険者で人間ドックを希望される方 70名 						
【事業費】						
	賃金(通知準備用事務員)	13千円				
	報償費(読影に係る人件費)	25千円				
	需用費(消耗品、印刷製本費)	1,413千円	(うち健康カレンダー1,080千円)			
	役務費(郵券料)	100千円				
	委託料(がん検診及び後期高齢者人間ドック)	29,627千円				
	合 計	31,178千円				
【予算措置(財源内訳)】						
	感染症予防事業費国庫補助金(基準額の2/3)	20千円				
	健康増進事業費補助金(基準額の2/3)	792千円				
	大腸がん検診特別推進支援事業(基準額の1/2)	28千円				
	鳥取県後期高齢者医療特別対策補助金(10/10)	2,450千円				
	鳥取県市町村交付金(1/2)	540千円				
	一般財源	27,348千円				

平成31年度 一般会計予算

提出課 健康対策課

(款) 4. 衛生費

(項) 1. 保健衛生費

(目) 3. 保健事業

(単位:千円)

事業名	健康ポイント制度事業				
前年度予算額	本年度予算額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
1,132	1,155				1,155
【事業概要及び必要性又は目的】					
健康づくりへの動機付け及び啓発、検診受診率の向上を目的に「健康ポイント制度」を継続実施する。					
【事業の内容】					
対象事業に参加した者にポイントを付与し、10ポイント達成した者に利用券(500円相当)を贈る。また、100ポイント達成者には5,000円相当の特産品を購入できる商品券を贈り、表彰する。					
○ポイント対象事業					
住民健診・人間ドック・健診後の精密検査受診、健康講演会・健康教室、子育てプール利用(ゆうあいパル・B&G)、子育て関連事業、公民館高齢者学級、図書館音読教室等					
○10ポイント、100ポイント達成者の状況 (単位:人)					
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
10ポイント達成者 (延べ人数)	1,112	1,337	1,332	1,315	
100ポイント達成者 (実人数)	19	29	29	30	
【事業費】					
	報償費	1,000 千円			
	需用費	20 千円			
	印刷製本費	135 千円			
	計	1,155 千円			
【本年度の計画効果】					
健康づくりへの意識が高まり、健康で自立した生活をおくる人が増える。					
【予算措置(財源内訳)】					
	一般財源	1,155千円			

平成31年度 一般会計予算

提出課 健康対策課

(款) 4. 衛生費

(項) 1. 保健衛生費

(目) 4. 予防費

(単位:千円)

事業名		インフルエンザ予防接種事業			
前年度予算額	本年度予算額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
13,497	13,532	1,400			12,132
【事業概要及び必要性又は目的】 初冬から春先にかけて毎年流行するインフルエンザの蔓延防止と重症化を予防するため、全町民に対して予防接種費用の助成を行う。					
【事業の内容】 1. 対象者 ①65歳未満(町独自の任意予防接種補助対象者) ②65歳以上(予防接種法における定期予防接種対象者) 2. 助成内容 ①65歳未満 1,000円/回(自己負担は、接種費用から助成額1,000円を差し引いた額) ②65歳以上 3,200円/回(自己負担は、1,000円) ※生活保護受給者はいずれも全額助成、13歳未満は2回接種					
【事業費】					
	需用費		132	千円(消耗品費・印刷製本費)	
	予防接種委託料		9,671	千円(65歳以上)	
	予防接種負担金		3,729	千円(65歳未満)	
	計		13,532	千円	
【予算措置(財源内訳)】					
	県支出金(市町村交付金)	1,400	千円(65歳未満分の1/2相当額)		
	一般財源	12,132	千円		

平成31年度 一般会計予算

提出課 健康対策課

(款) 3. 民生費

(項) 1. 社会福祉費

(目) 5. 介護保険事業費

(単位: 千円)

事業名		介護予防事業			
前年度予算額	本年度予算額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
3,772	4,334			2,056	2,278

【事業概要及び必要性又は目的】

一般高齢者や要支援状態になるおそれのある高齢者を対象とし、介護予防に関する講演会や運動器機能等の維持・向上を図るための教室を開催し、介護予防に関する知識の向上、実践による要介護状態への移行防止を図る。

認知症のおそれや予防が必要な高齢者を、住民健診や物忘れ相談会等の機会を通じて把握し、頭の活性化訓練のための教室に参加してもらうことで認知症の予防を図る。

【事業の内容】

- ・介護予防講演会 1回
- ・栄養改善・口腔機能向上教室 1教室(2回コース)
- ・物忘れ相談会 年1回
- ・認知症予防教室(委託)
 - 〔本教室(短期集中型) 1教室×週1回×4月(11月～2月)
 - 〔フォロー教室(月2回) 5教室×月2回
 - 〔フォロー教室(月1回) 2教室×月1回
 - ※とっとり方式認知症予防プログラムを取り入れ実施
- ・シニアパワーアップ教室 3教室×月4回×3月(委託)
- ・出前型介護予防教室 5集落程度

【事業費】

臨時保健師賃金	43 千円
講師等謝金	198 千円
事務費等	40 千円
認知症予防教室委託料	3,182 千円
シニアパワーアップ教室委託料	836 千円
自動車借上料	35 千円
計	4,334 千円

【本年度の計画効果】

介護予防に関する講演会や教室を開催することにより、介護予防に関する知識の向上、要介護状態への移行防止を図る。

【予算措置(財源内訳)】

南部箕蚊屋広域連合負担金 2,056 千円

※とっとり方式認知症予防プログラム

鳥取県が、認知症予防を推進するため、鳥取大学及び伯耆町と連携し開発した鳥取県独自の認知症予防プログラム。

伯耆町の高齢者を対象に効果検証した結果、認知機能及び身体機能(上肢筋力、下肢筋力、柔軟性)等に向上がみられた。

平成31年度以降、鳥取県が県内にプログラムを普及予定。

検証期間:平成29年9月～平成30年11月

検証対象:伯耆町内の高齢者(65歳以上) 136人

検証方法:通所型の認知症予防教室においてプログラムを実施、実施前後の認知機能や身体機能等の測定データを鳥取大学が比較・分析

平成31年度 一般会計予算

提出課 福祉課

(款) 3. 民生費

(項) 1. 社会福祉費

(目) 1. 社会福祉総務費

(単位:千円)

事業名	温水プール利用促進健康づくり事業				
前年度予算額	本年度予算額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
2,478	2,175				2,175

【事業概要及び必要性又は目的】

施設の利用促進と自発的・積極的な体力づくり及び健康の改善・保持・増進を図るため、町民を対象に温水プールの利用券を発行し、利用料を助成する。

【事業の内容】

<対象者等>

対象者	利用券交付枚数	助成額
個人利用者	1か月あたり4枚	利用券1枚につき 310円(未就学児は 210円)
グループ利用者(2人以上のグループ)	1か月あたり4枚(利用券を全て使用した場合、追加交付)	
モニター利用者(体重、体脂肪率、血圧を記録)	1か月あたり8枚	

<申請窓口>

伯耆町役場 福祉課 (電話68-5534)

事業名	生活困窮者自立支援事業				
前年度予算額	本年度予算額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
7,853	6,850	4,047			2,803

【事業概要及び必要性又は目的】

生活保護に至る前の自立支援策の強化を図るため、生活困窮者に対し、自立相談支援事業の実施、住居確保給付金の支給等を行う。

【事業の内容】

<事業内容>

自立相談支援事業	生活困窮者に対する相談窓口を設置し、主任相談支援員、相談支援員、就労支援員の3職種を配置する。相談窓口では、就労その他の自立に関する相談支援、事業利用のためのプラン作成等を実施する。
住居確保給付金	離職を理由に住居を失う恐れがある者に有期で家賃等を支給する。

<実施体制>

伯耆町社協に相談窓口を設置し、自立相談支援事業及び住居確保給付金の申請受付を行う。相談者の相談内容から必要な支援を検討し、必要に応じて役場、関係機関等と連携して当該相談者の支援を行う。

<相談窓口>

伯耆町社会福祉協議会 (電話68-4635)

平成31年度 一般会計予算

(款) 3. 民生費

(項) 1. 社会福祉費

提出課

福祉課

(目)

4. 老人福祉費

(単位：千円)

事業名		敬老会助成事業			
前年度予算額	本年度予算額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
5,259	5,214				5,214
【事業概要及び必要性又は目的】 各自治会で実施される敬老行事の充実を図るため、補助金を交付する。					
【事業の内容】 ＜補助対象者＞令和元年8月1日現在で満77歳以上の方で、自治会加入者 ＜補助対象事業＞					
事業種別	事業内容	対象経費		補助金額	
敬老会開催事業	各地区公民館等で敬老会を開催する事業	会場借り上げ料、食糧費、アトラクション等に要する経費、記念品代		1人あたり 3,500円	
記念品配布事業	敬老会該当者に対して記念品の配布のみを行う事業	記念品代		1人あたり 2,000円	
＜申請窓口＞ 伯耆町役場 福祉課 (電話68-5534)					

事業名		敬老の日贈り物			
前年度予算額	本年度予算額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
323	343				343
【事業概要及び必要性又は目的】 長寿を祝い、記念年齢の方及び最高齢の方にお祝いの品を贈呈する。					
【事業の内容】 ＜対象年齢＞ 90歳、100歳、105歳、町内最高齢者 ＜記念品＞ カタログギフト等					

平成31年度 一般会計予算

(款) 3. 民生費

(項) 1. 社会福祉費

提出課

福祉課

(目)

4. 老人福祉費

(単位：千円)

事業名	老人クラブ事業				
前年度予算額	本年度予算額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
3,534	3,534	2,354			1,180

【事業概要及び必要性又は目的】

高齢者のいきがいと健康づくりのための社会参加を通じて、生活を豊かにすることにも、明るい長寿社会づくりに資するため、老人クラブ連合会及び単位老人クラブへ運営費を助成する。

【事業の内容】

○老人クラブ連合会補助金

補助対象事業	補助率
スポーツ・レクリエーション活動事業	1/2以内
教養、いきがい活動事業及び世代間交流推進事業	1/2以内
交通安全対策事業	3/4以内
指導者育成及び普及啓発事業	2/3以内
地域福祉活動推進事業	2/3以内

○単位老人クラブ補助金

事業区分	事業・活動内容	補助上限額
一般活動分	奉仕活動・教養事業活動・スポーツ活動	46,000円
特別事業分	世代間交流・ふれあいサロン・清掃奉仕	25,000円

<申請窓口>

伯耆町役場 福祉課 (電話68-5534)

※単位老人クラブのとりまとめは、老人クラブ連合会事務局(伯耆町社会福祉協議会)

平成31年度一般会計予算

提出課 地域整備課

(款) 7. 土木費

(項) 1. 道路橋梁費

(目) 2. 道路維持費

(単位:千円)

事業名	町道管理事業				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
1,210	1,460	0	0	0	1,460
【事業内容の説明】					
ボランティアの育成・支援するために、町道の草刈り等を実施した集落等に、報償金を支払う。					
○対象となる事業					
「集落と集落」または「集落と公共施設」を結ぶなど、幹線的な役割を果たす町道の清掃 1回の作業延長が200メートル以上の路線で、年2回までの作業が対象					
○報償金の額					
年間の作業延長により、次に掲げる額					
作業延長（年間の累計）		報償金の額			
200メートル以上 1キロメートル未満		30,000円			
1キロメートル以上 2キロメートル未満		40,000円			
2キロメートル以上 3キロメートル未満		50,000円			
3キロメートル以上 4キロメートル未満		60,000円			
4キロメートル以上 5キロメートル未満		70,000円			
5キロメートル以上		80,000円			
■参考 平成30年度実施団体数 25団体					
平成31年4月1日現在の申請団体数 29団体					

平成31年度一般会計予算

提出課 地域整備課

(款) 7. 土木費 (項) 1. 道路橋梁費 (目) 3. 道路新設改良費
(単位:千円)

事業名	町道改良事業				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
212,120	149,000	57,390	89,200		2,410
【事業内容の説明】 町道籠原栃原線、町道根雨原大坂線、町道溝口中央線、町道駅前河岡線、町道上細見1号線、町道久古5号線の改良を行う。					
【財 源】 社会資本整備総合交付金 57,390 千円 過疎対策事業債 47,300 千円 合併特例事業債 41,900 千円					

(款) 7. 土木費 (項) 1. 道路橋梁費 (目) 2. 道路維持費 5. 橋梁維持費
(単位:千円)

事業名	町道点検事業				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
42,500	25,000	14,525			10,475
【事業内容の説明】 町道について、随時、詳細点検を行う。 また、橋長2m以上の町道橋については順次定期点検を行い、結果を基に長寿命化計画を策定する。					
○事業費の内訳 点検委託料 25,000 千円					
【財 源】 社会資本整備総合交付金 14,525 千円(補助対象額 25,000千円×60%)					

平成31年度一般会計予算

提出課 地域整備課

(款) 2. 総務費

(項) 1. 総務管理費

(目) 7. 企画費

(単位:千円)

事業名	太陽光発電システム助成事業				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
4,950	2,770	1,385			1,385
【事業内容の説明】					
町内の自ら居住する住宅に太陽光発電システム等を導入する者に対し補助金を交付する。今年度より太陽熱利用機器の導入については、補助対象外となります。					
○補助額					
・太陽光発電システム(1キロワット当り46千円 上限額:1件当り5キロワット) 230千円×8件 1,840千円					
・家庭用コージェネレーションシステム					
・エネファーム(上限額:1件当り180千円) 120千円×1件 120千円					
・エコウィル(上限額:1件当り90千円) 70千円×1件 70千円					
・薪ストーブ、木質ペレットストーブ(上限額:1件当り180千円) 180千円×3件 540千円					
・定置用蓄電池等<定置用蓄電池・電気自動車等充給電設備> (上限額:1件当り200千円) 200千円×1件 200千円					
合 計					2,770千円
【財 源】					
鳥取県小規模発電設備等導入推進補助金(補助率1/2)					1,385千円

(款) 4. 衛生費

(項) 2. 清掃費

(目) 1. 清掃処理費

(単位:千円)

事業名	廃棄物処理管理事業				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
405,652	233,433			2,578	230,855
【事業内容の説明】					
○リサイクルの推進及びごみの適正な処理のため、可燃・不燃・資源ごみの収集、運搬及び処理を委託により実施する。					
○西部広域行政管理組合で処理する廃棄物・し尿の処理費用及び2か町クリーンセンターに係る費用の本町の応分について負担金を拠出する。					
○平成31年度より布類の収集を実施する。これに伴い、これまで年間4回実施していた拠点回収について、年間2回に変更する。(清掃センターでの常設回収は継続)					
○平成31年度から伯耆町全域の可燃ごみの焼却業務をクリーンセンターで実施する。					
【布類処理に係る経費】					
○布類処理委託料 1,244千円					
・【新規】収集:2か月に1回(岸本地域・溝口地域を隔月で収集)					
・【変更】拠点回収:本庁舎 1回・分庁舎 1回					
・常設回収:伯耆町清掃センター					
○ごみ袋等消耗品ほか 2,019千円					
・【新規】布類収集用ごみ袋作成					

平成31年度 一般会計予算

提出課 産業課
 (目) 3. 農業振興費
 (単位:千円)

(款) 5. 農林水産業費 (項) 1. 農業費

事業名	有害鳥獣駆除事業				
	前年度予算額	本年度予算額	財源内訳		
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
12,988	12,640	4,966		443	7,231
<p>【事業概要及び必要性又は目的】 イノシシ等有害鳥獣から農作物被害を防ぐため、駆除及び侵入防止等の事業により対策を行う。</p> <p>【事業の内容】 イノシシ等有害鳥獣による農作物等の被害を防止することを目的とした事業。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○イノシシ等駆除委託料 2,745千円 <ul style="list-style-type: none"> ・町内猟友会への駆除委託料 2,745,000円 (6,100円×150人役)×3班(岸本・溝口・二部)=2,745,000円 負担割合(県1/3、町2/3) ○イノシシ等被害防止対策事業補助金(一般分) 2,545千円 <ul style="list-style-type: none"> ・集落、農家等が設置するイノシシ進入防止柵に対する補助金網等 815,000円×2/3=543,334円 電気柵 3,002,400円×2/3=2,001,600円 <li style="text-align: right;">合計2,544,934円 負担割合(県1/3、町1/3 計2/3) ○イノシシ等被害防止対策事業補助金(一括購入分) 1,331千円 <ul style="list-style-type: none"> ・集落等が設置するイノシシ進入防止柵(ワイヤーメッシュ柵)を町が各集落の要望を取りまとめ、一括購入する。 ワイヤーメッシュ柵 1,330,488円 負担割合(県1/3 町1/3 集落等1/3) 負担割合(県1/3 : 439千円、 町1/3 : 449千円、地元1/3 : 443千円) ○イノシシ等捕獲奨励金 4,210千円 <ul style="list-style-type: none"> ・イノシシ捕獲奨励金 400頭×10,000円/頭=4,000,000円 ・シカ捕獲奨励金 10頭×10,000円/頭=100,000円 ・ヌートリア捕獲奨励金 10頭×2,000円/頭=20,000円 負担割合(県1/2、町1/2) ・シカ捕獲上乗せ 10頭×7,000円/頭=70,000円 負担割合(県10/10) ・アライグマ捕獲奨励金 2頭×10,000円/頭=20,000円 負担割合(県1/2、町1/2) <li style="text-align: right;">合計4,210,000円 負担割合(県1/2、町1/2) ○ツキノワグマ遭遇回避対策事業 180千円 <ul style="list-style-type: none"> ツキノワグマが錯誤捕獲された場合の殺処分、放獣に係る経費 ・殺処分 180,000円×1回=180,000円 ○カワウ駆除経費補助 50千円 ○県射撃環境支援事業 150千円 <ul style="list-style-type: none"> 駆除員の射撃練習に係る経費の一部を支援 10,000円×15名=150,000円 ○イノシシ捕獲檻購入補助金 360千円 <ul style="list-style-type: none"> 集落が被害軽減のために購入するイノシシ捕獲檻の購入費用に1/2を助成 @120,000円×5集落6基×1/2=360,000円 ○有害鳥獣駆除用実包購入助成 146千円 <ul style="list-style-type: none"> 有害駆除に必要な実包の購入費用の1/2を助成 散弾等146,000円 ○狩猟免許取得経費助成事業 43千円 <ul style="list-style-type: none"> 狩猟免許取得に必要な経費を助成 ・銃猟免許経費8,982円×2人=17,964円 ・わな猟免許取得経費8,042円×3人=24,246円 合計42,210円 ○有害鳥獣対策用資機材購入助成 180千円 <ul style="list-style-type: none"> 捕獲檻、侵入防止柵等、被害対策に必要な補修資機材の購入経費の一部を助成 ・捕獲檻等補修資材 240,000円×1/3=80,000円 ・駆除員捕獲資材 300,000円×1/3=100,000円 ○ゴルフ場有害鳥獣対策用資機材購入助成 700千円 <ul style="list-style-type: none"> ワイヤーメッシュ、電柵、捕獲檻等のゴルフ場での被害対策用資機材購入経費の一部を助成 ・侵入防止用資材等 (1カ所上限@600,000円×3カ所)×1/3=600,000円 ・捕獲用檻購入 100,000円×3基×1/3=100,000円 合計700,000円 <p>【本年度の計画効果】 H30において侵入防止柵等設置14件、有害捕獲イノシシ571頭、シカ6頭捕獲。農作物等への鳥獣被害を防ぐことを目的とする。</p> <p>【予算措置(財源内訳)】 県支出金 4,966千円(鳥獣被害防止補助金) 分担金 443千円(集落からの負担金) 一般財源 7,231千円</p>					

(款)5. 農林水産業費

(項)1. 農業費

(目)3. 農業振興費
(単位:千円)

事業名		鳥獣被害対策事業			
前年度予算額	本年度予算額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
2,937	1,846	1,344			502
<p>【事業概要及び必要性又は目的】 イノシシの生息数の増加等の要因により年々鳥獣被害が拡大していることから、鳥獣被害対策協議会及び鳥獣被害対策実施隊が中心となって、農林被害対策の充実を図る。</p> <p>【事業の内容】 イノシシ等による農作物被害を防止することを目的に設置する伯耆町鳥獣被害対策実施隊、及び鳥獣被害対策協議会の設置に関する事業。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伯耆町鳥獣被害対策協議会 鳥獣対策の関係機関(町内猟友会、町、JA、県等)で構成する協議会で鳥獣被害対策事業を実施 ・伯耆町鳥獣被害対策実施隊 鳥獣被害の緊急対応、追い払い等に従事する専門の実施隊の運営(町内猟友会) <p>○伯耆町鳥獣被害対策協議会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員報償費 3人×2,400円×2回=14,400円 15千円 ・事務用消耗品費(コピー用紙、ファイル等) 7,597円 8千円 ・運営費補助(イノシシ捕獲檻購入に係る補助対象外経費(消費税分)を町で負担) 100,000円×20基×0.10=200,000円 200千円 ・鳥獣被害防止施設整備補助金 1,479千円 協議会の事業として侵入防止柵を設置する経費を協議会に補助する。 1,400m×980円×消費税=1,478,400円(負担内訳 県:1,344千円、町135千円) <p>○伯耆町鳥獣被害対策実施隊</p> <ul style="list-style-type: none"> ・報酬(隊員15名分) 144,000円 144千円 <p>【本年度の計画効果】 侵入防止柵1集落設置により農作物への被害軽減、及び農家の負担軽減を図り、農家の耕作意欲の衰退を防ぐ。</p> <p>【予算措置(財源内訳)】 県支出金 1,344千円 一般財源 502千円</p>					

(款) 5. 農林水産業費

(項) 1. 農業費

(目) 3. 農業振興費

(単位:千円)

事業名		景観形成作物栽培促進事業			
前年度予算額	本年度予算額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
2,243	3,576				3,576
<p>【事業概要及び必要性又は目的】 水田の地力維持・増進及び観光資源の維持を目的として、町花である「菜の花」をはじめ、「レンゲ」や「ヒマワリ」の作付を促し景観形成を推進する。 種子の無料配布に加え、交付金を交付することで、より一層の水田の有効活用及び景観形成を推進し、新たな観光資源として整備していく。</p> <p>【事業の内容】</p> <p>○対象者</p> <p>①町内の30a以上のまとまった農地で作付が可能な農業者 ②町内の集落・実行組合等の組織</p> <p>○内容</p> <p>①種子の無料配布:菜の花、レンゲ、ヒマワリ(ヒマワリについては除草剤も配布) ②交付金の交付事業:30a以上の作付をした対象者で目視で開花が確認できた場合 菜の花、ヒマワリ・・・10,000円/10a レンゲ・・・5,000円/10a</p> <p>【本年度の計画効果】</p> <p>・実施予定面積 33.5ha(菜の花20ha、レンゲ8.5ha、ヒマワリ5ha)</p> <p>・実施場所 遠藤、坂長、吉定、立岩、岸本、上細見、丸山等のJR沿線、国道、県道、観光道路沿い等の農地</p> <p>・期待される効果</p> <p>①緑肥による環境負担低減効果、肥料代替効果、水稻作の抑草効果 ②水田の有効活用 ③景観美化による地域のイメージアップ、集客効果</p> <p>【予算措置(財源内訳)】 一般財源:3,576千円</p>					

(款) 5. 農林水産業費

(項) 3. 林業費

(目) 2. 松くい虫防除費

(単位:千円)

事業名		松くい虫防除事業			
前年度予算額	本年度予算額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
20,639	20,289	8,463			11,826
【事業概要及び必要性又は目的】 松枯れ被害の原因となる、マツノマダラカミキリ虫の駆除を行うことで、被害拡大を図り景観保護及び水源涵養機能の維持を行う。					
【事業の内容】 特別防除(空中散布)と伐倒駆除事業等を効果的に組み合わせて実施し、松くい虫被害の拡大防止を図る。					
特別防除(空中散布) マツノマダラカミキリ虫の羽化の初期、最盛期(5月下旬～6月中下旬)にこれを駆除するため、スミパイン乳剤(殺虫剤)をヘリコプターから面的に散布する。 実施地区 丸山、岩立、添谷、船越、父原					
緊急防除(ガンゾル散布) マツノマダラカミキリ虫の幼虫は9月中下旬は松の表面にいるため、これ駆除するため、ヘリコプターにより今年枯れたカミキリムシの幼虫のいる松に直接スミパイン乳剤を散布する。 実施地区 船越、父原					
伐倒駆除 マツノマダラカミキリ虫の幼虫が松の表皮付近にいる9月から10月にかけて、今年枯れた松を切り倒し、玉切りにした後、薬剤を全面にかける。 実施地区 金屋谷、岩立、添谷、福兼、富江、大内					
特別伐倒駆除 今年枯れた松にはマツノマダラカミキリ虫の幼虫が材中にあるので、伐採し松林から搬出しチップ等にする。次年度以降の発生源となる松を松林から持ち出すことにより、次年度以降の被害の拡散を防ぐ。 幼虫が材の中心部にいる場合でも駆除が可能のため11月から翌年の2月にかけて実施 実施地区 丸山					
ほかに、町内ゴルフ場、大和ハウス行う松くい虫防除事業に対して補助を行う。					
【本年度の計画効果】 松くい虫の被害拡大防止					
【予算措置(財源内訳)】 県補助金 8,463千円 一般財源 11,826千円					

(款) 5. 農林水産業費

(項) 3. 林業費

(目) 5. ナラ枯れ対策事業費

(単位:千円)

事業名	ナラ枯れ対策事業				
前年度予算額	本年度予算額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
24,015	9,000	9,000			
【事業概要及び必要性又は目的】 大山周辺で急激に増えているナラ枯れ被害の抑制を図り、森林環境の保護を行う。					
【事業の内容】 大山周辺で拡大しているナラ枯れ被害防止のために、トラップ設置や被害木駆除等を行い被害拡大の防止を図る。 カシナガトラップによる駆除 ナラ枯れの原因となる、カシノナガキクイムシの個体数を減少させるため、カシノナガキクイムシをペットボトルトラップにより誘引する駆除を行う 立木燻蒸による駆除 今年度に枯れたカシノナガキクイムシいるナラの木に薬剤を注入して虫を殺すことにより次年度以降の感染源となることを防ぐ。 実施区域は、ペットボトルトラップ設置可能な場所及び、枯れたナラのみに直接作業をすることが可能な区域					
【本年度の計画効果】 ナラ枯れの被害拡大を防止する					
【予算措置(財源内訳)】 県補助金 9,000千円					

平成31年度一般会計予算

提出課 教育委員会

(款) 9. 教育費

(項) 4. 社会教育費

(目) 2. 公民館費

(単位:千円)

事業名	岸本公民館管理事業				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
7,328	7,835			22	7,813
(事業内容の説明)					
町民の生涯学習の拠点施設として、子どもから高齢者まで住民が利用しやすい施設運営を図る。					
(支出内訳)					
	報酬(公民館運営審議委員)			64千円	
	賃金(臨時職員1名、管理代行員)			2,572千円	
	旅費(普通旅費)、公課費(自動車重量税)			53千円	
	需用費(消耗品費、光熱水費、燃料費、修繕料等)			2,362千円	
	役務費(通信運搬費等)			167千円	
	委託料(保守点検委託料、施設管理委託料等)			2,221千円	
	使用料及び賃借料(マット等使用料)			84千円	
	備品購入費(ポータブルアンプ購入)			312千円	
	合計			7,835千円	
(財源内訳)					
	公民館使用料	15千円	雑収入(コピー料)	7千円	

事業名	岸本公民館生涯学習事業				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
1,093	1,117				1,117
(事業内容の説明)					
各種事業を開設し、子どもから大人までの学習の場を提供し、参加者の交流、親睦を図る。					
(主な内容)					
1. 高齢者教室(松栄学級)					
高齢者を対象に、町外研修、講演会、実習等を開催し、生きがいと健康づくりを図る。(年間10回)					
	報償費(講師謝金等)			63千円	
	旅費			8千円	
	小計			71千円	①
2. 成人講座、男性講座					
成人を対象に、各種講座を開催し、生涯学習の機会の提供と交流を図る。(年間4回程度)					
	報償費(講師謝金)			22千円	
	旅費、需用費(消耗品費)			13千円	
	小計			35千円	②
3. 子ども体験活動					
小中学生を対象に、自然体験・郷土学習などをおとして、子どもの豊かな心を育む。					
	報償費(講師謝金)			42千円	
	旅費、需用費(消耗品費)			8千円	
	小計			50千円	③
4. 家庭教育講演会					
保育所、小中学校、その他関係団体と連携し講演会を開催し、家庭での教育力の向上を図る。					
	報償費(講師謝金)			29千円	
	需用費(消耗品費)			2千円	
	小計			31千円	④
5. 町民運動会岸本地区大会					
岸本地区の町民総スポーツの中心的事業として、実行委員会方式で開催する。(10月6日予定)					
	負担金補助及び交付金(岸本地区運動会補助金)			653千円	⑤
6. 岸本公民館きないや祭(岸本地区文化祭)					
公民館内外の活動の成果を発表し、広く住民のふれあいと交流を図る。(11月16、17日予定)					
	報償費(参加賞)			80千円	
	需用費(消耗品費、賄材料費等)、役務費			98千円	
	委託料(パネル設置等委託料)、使用料及び賃借料			99千円	
	小計			277千円	⑥
	合計(①～⑥)			1,117千円	

平成31年度一般会計予算

(款) 9. 教育費 (項) 4. 社会教育費 (目) 2. 公民館費 (単位:千円)

提出課 教育委員会

事業名		二部公民館管理事業			
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
2,112	2,028			101	1,927
(事業内容の説明)					
過疎化、少子高齢化が進む中、生涯学習の拠点のみならず、地域の活性化センターの役割を果たすため、住民が気楽に利用できるよう円滑な施設管理運営を図る。					
(支出内訳)		報酬(公民館運営審議委員)		53千円	
		賃金(たたらまつり補助臨時賃金)		161千円	
		旅費		12千円	
		需用費(消耗品費、光熱水費、燃料費、施設修繕費等)		958千円	
		役務費(通信運搬費、火災保険料、手数料)		101千円	
		委託料(保守点検委託料、施設管理委託料)		315千円	
		使用料及び賃借料(土地借上料、マット等使用料等)		328千円	
		備品購入費(図書購入費)		100千円	
		合 計		2,028千円	
(財源内訳)		公民館使用料		1千円	
		伯耆町豊かなふるさと創造基金繰入金(対象:図書購入費)		100千円	

事業名		二部公民館生涯学習事業			
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
665	659				659
(事業内容の説明)					
地区の特色を活かしながら、多々楽学園、女性学級、たたらまつり(公民館まつり)等を実施し、生涯学習の推進を図る。					
(主な内容)					
1. 高齢者教室(多々楽学園)		二部地区内の高齢者を対象に、町内外研修、講演会等年間10回程度開催する。			
		報償費(講師謝金等)		46千円	
		旅費(町外研修職員旅費、講師派遣旅費)		6千円	
		小 計		52千円 ①	
2. 女性学級		町内に居住する女性を対象に、町内外研修、各種講習会、ものづくり教室など年間10回程度開催する。			
		報償費(講師謝金)		40千円	
		旅費(町外研修職員旅費)		8千円	
		需用費(消耗品費)		16千円	
		小 計		64千円 ②	
3. 生涯学習講座		夏休みのお楽しみ事業、各種団体等との交流会、各種体験教室等の事業を開催する。			
		報償費(講師等謝金)		47千円	
		需用費(消耗品費)		29千円	
		小 計		76千円 ③	
4. たたらまつり(2月下旬開催予定)		二部公民館を会場に作品展示、農産物販売などを開催。期日、内容等は実行委員会で決定			
		報償費(特別展講師謝金、出品者参加賞)		99千円	
		需要費(消耗品費、食糧費、印刷製本費)		82千円	
		役務費(クリーニング手数料)		10千円	
		使用料及び賃借料(リユース食器使用料)		14千円	
		小 計		205千円 ④	
5. 町民運動会		二部地区大会 地域住民の健康増進と親睦を深めることを目的に実行委員会方式で開催する。			
		負担金補助及び交付金(二部地区運動会補助金)		262千円	
		小 計		262千円 ⑤	
		合 計(①～⑤)		659千円	

平成31年度一般会計予算

提出課 教育委員会

(款) 9. 教育費

(項) 4. 社会教育費

(目) 2. 公民館費

(単位:千円)

事業名	溝口公民館管理事業				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
2,033	2,068			18	2,050
(事業内容の説明) 町民の生涯学習の拠点施設として、子どもから高齢者まで住民が利用しやすい施設運営を図る。					
(支出内訳)					
					報酬(公民館運営審議会委員) 43千円
					賃金(臨時職員1名) 1,679千円
					旅費 59千円
					需用費(消耗品費、食糧費、燃料費、修繕料) 189千円
					役務費(手数料、火災保険料) 74千円
					使用料及び賃借 24千円
					合計 2,068千円
(財源内訳) 溝口公民館使用料 18千円					
事業名	溝口公民館生涯学習事業				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
882	892				892
(事業内容の説明) 各種事業を開設し、子どもから大人までの学習の場を提供し、参加者の交流、親睦を図る。					
(主な内容)					
1. 高齢者教室(貴寿美学園)					
高齢者を対象に、町外研修、講演会、実習等を開催し、生きがいと健康づくりを図る。(年間12回程度)					
					報償費(講師謝金等) 66千円
					旅費 13千円
			小計		79千円 ①
2. 生涯学習支援講座					
(1) 成人講座(年7回程度)					
成人を対象に、学習機会を提供し、親睦と交流を図る。					
					報償費(講師謝金) 50千円
					需用費(消耗品費) 8千円
			小計		58千円 ②
(2) 子どもの体験活動の充実講座(年14回程度)					
小中学生を対象に、いろいろな体験活動・郷土学習などを通して、子どもの豊かな心を育む。					
					報償費(講師謝金) 91千円
					賄材料費(調理実習の材料費) 22千円
					需用費(消耗品費) 53千円
			小計		166千円 ③
(3) 未就学児保護者対象家庭教育支援講座(年4回程度)					
未就学児保護者に学習する機会を提供し、家庭の教育力向上を図る。					
					報償費(講師謝金) 25千円
					需用費(消耗品費) 10千円
			小計		35千円 ④
3. 町民運動会溝口地区大会の開催。実施時期:10月20日					
溝口地域の住民の健康維持と親睦を図るため、運動会を実施する。実行委員会方式で開催する。					
					負担金補助及び交付金(溝口地区運動会補助金) 361千円
			小計		361千円 ⑤
4. 公民館まつりの開催。実施時期:令和2年3月					
公民館内外の活動の成果を発表し広く住民のふれあいと交流を図る。					
					報償費(講師謝金等) 111千円
					需用費(消耗品費、食糧費) 66千円
					使用料及び賃借料(機材借上げ料) 16千円
			小計		193千円 ⑥
			合計(①~⑥)		892千円

平成31年度一般会計予算

提出課 教育委員会

(款) 9. 教育費

(項) 4. 社会教育費

(目) 2. 公民館費

(単位:千円)

事業名	日光公民館管理事業				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
2,848	2,915			103	2,812
(事業内容の説明)					
過疎化、少子高齢化が進む中で地域づくりと自己実現の生涯学習拠点施設の管理運営を行う。					
(支出内訳)					
				報酬(公民館運営審議会委員)	53千円
				賃金(公民館祭補助臨時職員)	258千円
				旅費	8千円
				需用費(消耗品費、燃料費、光熱水費、施設修繕料等)	1,370千円
				役務費(通信運搬費、火災保険料等)	181千円
				委託料(施設清掃、施設保守委託料)	930千円
				使用料及び賃借料(テレビ受信料)	15千円
				備品購入費(図書購入)	100千円
				計	2,915千円
(財源内訳)					
				豊かなふるさと創造基金繰入金(対象:図書購入費)	100千円
				使用料・公衆電話委託手数料等	3千円

事業名	日光公民館生涯学習事業				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
684	685				685
(事業内容の説明)					
地区の特色を活かしながら、高齢者教室(日光学園)、世代間ふれあいセミナー、ふるさと学級、ふるさとまつり(公民館まつり)、町民運動会日光地区大会、伯耆町駅伝等を実施し、生涯学習の推進を図る。					
(主な内容)					
1. 高齢者教室(日光学園)					
日光地区内の高齢者を対象に、町内外研修、講演会等年間10回程度開催する。					
				報償費(講師謝金等)	34千円
				旅費(町外研修職員旅費)	11千円
				需用費(消耗品費)	10千円
				小計	55千円 ①
2. 世代間ふれあいセミナー					
各種団体と連携した体験交流事業を通じ、子どもの豊かな心や感性の育成と世代間交流を図る。					
				報償費(講師謝金)	55千円
				需用費(消耗品費)	11千円
				小計	66千円 ②
3. ふるさと学級					
日光地区に伝わる、食、文化各行事を通じて、後世に伝えると共に地域の伝統文化を再発見する。					
				報償費(講師謝金)	23千円
				旅費	21千円
				需用費(消耗品費)	6千円
				小計	50千円 ③
4. ふるさとまつり					
公民館活動の成果発表、地域住民の出会い、ふれあい、ふるさと再発見を目的とした交流の場					
				報償費(講師謝金)	68千円
				需用費(消耗品費、食糧費等)	69千円
				リユース食器使用料	18千円
				小計	155千円 ④
5. 町民運動会日光地区大会(10月20日予定)					
町民の健康増進と親睦を深める大会。実行委員会を組織し住民参画により企画運営を図る。					
				日光地区運動会補助金	224千円 ⑤
6. 伯耆町駅伝(10月14日予定)					
駅伝大会を開催し、健康づくりと親睦を深め、地域の活性化を目指す。					
				需用費(消耗品費、賄材料費等)	114千円
				リユース食器使用料	21千円
				小計	135千円 ⑥
				合計(①～⑥)	685千円

平成31年度 一般会計予算

提出課 分庁総合窓口課

(款) 2. 総務費

(項) 1. 総務管理費

(目) 4. 財産管理費

(単位:千円)

事業名	溝口分庁舎等改修事業				
事業の種別	重要事業				
重要事業の根拠計画等	事業の根拠となる計画名称及び計画項目	【総合計画】 1住みよさを感じるまち (2)行財政 ③省エネルギー 庁舎等改修による省エネ化の推進 【総合計画】 5住民と行政による協働のまち (1)生活環境 ①行政運営 分庁舎改修による長寿命化、機能向上			
	関係法令・例規				
前年度予算額	本年度予算額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
0	118,115		107,600	5,704	4,811

【事業概要及び必要性又は目的】

溝口分庁舎等改修事業に関する設計案が完成したため、溝口分庁舎に係る改修工事のうち、急ぐ部分のみ改修を行う。

【事業の内容】

(施設名) 溝口分庁舎

(施設場所) 伯耆町溝口647番地 ほか

(施設概要) 平成14年完成 SRC造 6階建 延床面積2,264.92㎡

(事業費)

需用費	消耗品費	100 千円	臨時案内看板、引っ越し用備品シール等
委託料	設計・測量・監理委託料	3,736 千円	改修工事監理業務委託料
	その他委託料	1,576 千円	事務所移転作業委託料
使用料及び賃借料	物品借上料	1,134 千円	改修工事中の空調機器レンタル料
工事請負費	工事請負費	109,569 千円	改修工事費、電話・LAN仮設・本設工事費
備品購入費	庁用器具購入費	2,000 千円	会議テーブル、椅子、衝立等
合計		118,115 千円	

【本年度の計画効果】

(1) 事業実施期間 平成31年4月～9月

(2) スケジュール 4月下旬 入札・仮契約締結

5月中旬～9月下旬 改修工事

※工事期間中に、分庁総合窓口課・産業課・教育委員会事務局が、順次2階に異動します。

(3) 工事概要

① 長寿命化	屋上防水の改修
② 省エネ化	空調システム更新
③ 防災対策	自家発電設備の移設・電話保安器の移設 外壁点検・修繕

【予算措置(財源内訳)】

合併特例事業債	107,600 千円
公共施設等整備基金繰入金	5,704 千円
一般財源	4,811 千円
合計	118,115 千円